



文部科学省 知的クラスター創成事業（第II期） ほくりく健康創造クラスター

浅野 富山県立大学教授プロジェクト
アミノ酸メタボロミクスのための酵素チップの開発と診断・予防への応用

研究セミナー開催のご案内

演 題

先天性アミノ酸代謝異常症等の診断および治療の現状と課題

講 師

熊本大学大学院 医学薬学研究部 先端生命医療科学門
教授 遠藤 文夫 氏

講師プロフィール

主な研究分野：小児科学、代謝学、人類遺伝学

所属学会：日本先天代謝異常学会(理事長)、日本小児科学会(理事)、日本アミノ酸学会(監事)、
日本人類遺伝学会(評議員)、日本遺伝子治療学会(幹事)等

要 旨

先天性アミノ酸代謝異常の治療は、摂取するアミノ酸の制限による食事栄養治療がドイツにおいて1950年代に開始され、その後急速に普及した。一方、新生児期における早期診断の方法として、我が国においては1970年代にマススクリーニングが導入された。

その後30年以上が経過し、アミノ酸代謝異常症の治療は食事栄養治療の内容、新規薬物治療の導入などにおいて近年急速に変化している。しかし我が国においては薬物治療の導入の遅延や新規食品の開発の不足などから患者の生活の質は明らかに劣っているとされる。

フェニルケトン尿症をはじめとする先天性アミノ酸代謝異常症等の診断や治療について、新規なスクリーニング法の導入の状況とともに、今日の治療や病態管理における課題などを具体的な症例とともに紹介される。

日 時 2009年 5月 13日 (水)

14:30 ▶ 15:30

場 所 (財)富山県新世紀産業機構
技術交流センター2階 大研究室
富山県富山市高田529
TEL 076-444-5653

お問合せ ・富山県立大学 生物工学研究センター
TEL 0766-56-7500
・(財)北陸産業活性化センター 知的クラスター推進室
TEL 0766-210-7400